



土木科

Okinawa
Technical
HighSchool

戦力協心 〈一人ではなし得ないものがここにある〉

沖縄建設新聞に掲載されました

測量試補や2級土木など資格取得に注力

資格取得に向けた授業を実施で合格者多数

沖縄工業の土木科では、

測量や製図、実習などを通じて、土木技術者に必要な基礎的な知識と技術の習得を目指している。土木科の

知念豪俊教諭は在籍する生徒について「土木の仕事が

したいという意思を持った生徒が多い」と話す。土木科では資格取得に力を入れて

ており、2年時から2級土木施工管理技士補の資格取得に向けた内容の授業を実施し、資格取得を後押し。

また難関資格の測量試補では、1年から実習に加えて

放課後の時間を使った座学

を実施する。知念教諭は2

級土木は毎年30人近く合格しており昨年は●人だった。測量試補の合格者は●

人と多くの生徒が資格取得に挑戦している」と話した。

ものコン大会の測量部門で2連覇達成

昨年、土木科3年の生徒らが、ものづくりコンテスト沖繩大会の測量部門に出

場し、2年連続で最優秀賞を受賞した。さらに昨年7

月に開かれた九州大会でも県勢初の最優秀賞に輝き、

11月には全国大会に出場した。知念教諭は「残念ながら入賞は果たせなかった

が、彼らにとって大変意味のある大会だったと思う。

大会の経験を今後に活かしてほしい」と思いを語った。

「社員がやめない企業」に人気傾向

土木科の進路は例年7割が土木系企業の就職を希望している。知念教諭は

就職の傾向について「先輩後輩のネットワークが就職の基準になっていきいて

る。企業ブランドをあまり重視せず、会社の規模が大きくなくても先輩が離職し

ない会社に就職したいという傾向がある。」と分析した。

た。

土木の魅力を伝え生徒の意欲を伸ばす

土木科は就職に強く、昨年度は就職率100%だった。知念教諭は「同校土木

科にしか来ない求人もあり、レベルの高い生徒が求められている。知識と技術

の習得だけでなく、しっかりとした挨拶やコミュニケーションができるように

指導している」と説明。「土木に興味を持って学べるよう

に、土木の魅力を伝えていく。生徒ののびしろを伸ばす指導をしていく」と話した。